

# 「学校における働き方改革プラン」について

県教育委員会では、教職員の負担を軽減し、長時間勤務の是正を図ることで、教職員が意欲と能力を最大限発揮し、子どもたちに効果的な教育活動を行うことにより、本県教育の更なる充実を図るため、令和2年3月に「学校における働き方改革プラン」を策定しました。

今後、関係機関と密接に連携し、保護者や地域の方々のご理解をいただきながら、このプランに基づき、取組を進めてまいりますので、皆様のご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

## プランの位置付け

- 県教育委員会が実施する「学校における働き方改革」に向けた目標や取組内容等を示すとともに、市町村教育委員会においても取り組んでほしい内容を示すもの。
- 「学校における働き方改革」に係る基本方針・実施計画等を策定していない市町村教育委員会に対し、本プランを参考に策定を促すもの。

## 本県の学校における働き方改革の目的

- 教職員の健康保持、仕事と生活の充実
- 教育の質の維持・更なる向上

## 期間

令和2年度～令和4年度(3年間)



## 取組内容

### 【教育委員会における取組】

- 学校と一丸となって、以下の方策に係る各種取組を推進
- (1) 働きやすい環境を構築するための方策
  - (2) 部活動による負担を軽減するための方策
  - (3) 成績処理、その他の事務処理を効率化するための方策
  - (4) 外部対応による負担を軽減するための方策

### 【学校における取組】

- 校長のリーダーシップの下、以下の方策に係る各種取組を推進
- (1) 働きやすい環境を構築するための方策
  - (2) 部活動による負担を軽減するための方策
  - (3) 会議・打合せを効率化するための方策
  - (4) 成績処理、その他の事務処理を効率化するための方策
  - (5) 学校行事の負担を軽減するための方策

※「学校における働き方改革プラン」の詳細はこちらから

青森県 学校 働き方



## 目標等

- ◆ 県立学校の教育職員の時間外勤務時間の上限時間を、原則として、**①1箇月 45時間以内、②1年間 360時間以内** とする。

### 参考

本県の教諭・講師の1月当たりの時間外勤務時間の平均(平成30年度)  
 小学校:約47時間、中学校:約71時間、  
 高等学校:約59時間、特別支援学校:約25時間

- ◆ 上限時間の達成に向けて、プランの目標を次のとおり設定。  
 ・県立学校における時間外勤務時間の25%減  
 ・全市町村において県の目標を踏まえた基本方針・実施計画等を策定

☎ 教職員課 人事制度グループ TEL.017-734-9892

# お知らせ

県教育委員会では、より良い紙面づくりのため、皆様からのご意見、ご感想、ご要望をお待ちしております。  
 県教育庁教育政策課情報広報グループ広報担当(TEL.017-734-9868)までご連絡ください。

## 高校生縄文案内人養成講座のご案内

- 時期 / 6月下旬～7月
- 場所 / 青森市、弘前市、外ヶ浜町
- 内容 / ・文化財について考えてみよう  
 ・縄文遺跡の魅力を考えてみよう  
 ・地域での活用方法を考えてみよう
- 対象 / 県内在住の高校生
- 参加費 / 無料
- ※「高校生縄文案内人養成事業」の最初のステップです。  
 この講座を受講した方は、ステップ2の案内人体験に参加できます。
- 応募方法等 / 県教育委員会ホームページをご覧ください。

☎ 文化財保護課文化財グループ TEL.017-734-9920  
<https://www.pref.aomori.lg.jp/bunka/education/koukousei-jomon-annainin.html>

高校生縄文案内人

## 令和元年度いじめ防止キャンペーンテレビCM及びメイキングムービーを配信しています

令和元年度いじめ防止標語コンクールの優秀賞作品をもとにして制作したCMとメイキングムービーをYouTubeで配信しています。

CMは、県内の高校生に絵コンテを制作してもらい、その絵コンテを原案として映像にしました。CM制作には、標語を考えた生徒や絵コンテを制作した生徒、出演した生徒など多くの生徒が携わりました。いじめ防止キャンペーンをとおし、それぞれの思いを伝える生徒たちの姿を、メイキングムービーでぜひご覧ください。

☎ 生涯学習課 企画振興グループ TEL.017-734-9888  
[https://www.pref.aomori.lg.jp/bunka/education/ijimekonzetu-23-e\\_shogai01.html](https://www.pref.aomori.lg.jp/bunka/education/ijimekonzetu-23-e_shogai01.html)

青森県 いじめ防止 CM

## 奨学金制度、授業料等免除制度等について

新型コロナウイルス感染症の影響等により家計が急変した世帯に対して、以下の支援制度があります。

- ・高等学校奨学金(緊急採用募集)
  - ☎ 公益財団法人青森県英奨学会 TEL.017-734-9879
  - ・青森県立高等学校授業料等の免除制度
  - ・高校生等奨学のための給付金制度
  - ☎ 学校施設課 財務グループ TEL.017-734-9873
- 要件等、詳細については県教育委員会ホームページをご覧ください。  
[http://www.pref.aomori.lg.jp/bunka/education/coronavirus\\_menu.html](http://www.pref.aomori.lg.jp/bunka/education/coronavirus_menu.html)  
 その他、県庁ホームページでも各種支援制度のご案内しています。  
[http://www.pref.aomori.lg.jp/koho/coronavirus\\_index.html](http://www.pref.aomori.lg.jp/koho/coronavirus_index.html)

# 教育広報 あおもりけん

2020.5 Vol.57

令和2年5月発行  
 〒030-8540 青森市長町1丁目1番1号  
 TEL.017-734-9868

「北海道・北東北の縄文遺跡群」を世界遺産に

北海道・北東北の縄文遺跡群  
 JOMON JAPAN  
<http://jomon-japan.jp>

青森県教育委員会ホームページアドレス ⇒ <http://www.pref.aomori.lg.jp/bunka/education/main.html>

## 令和元年度 いじめ防止標語コンクール

優秀賞は6作品あり、毎号紹介しています

優秀賞作品 **助けたい 心の声から 行動へ**

青森市立佃中学校 3年 三上 優空  
 (※受賞当時の学校と学年です)

# 令和2年度 青森県教育委員会の「施策の柱」

— 新しい時代を主体的に切り拓く人づくりに向けて —

県教育委員会では、青森県教育振興基本計画に基づき、**本県教育を取り巻く重要課題の解決**に向けて取り組む主要な施策を明らかにするため、「**施策の柱**」を設定し、**取組の重点化**を図ることとしています。

令和2年度は、以下の4つの柱を設定しました。

「**新しい時代を主体的に切り拓く人づくり**」に向け、保護者の皆様方をはじめ、市町村教育委員会、学校、その他関係機関や団体の皆様方と連携のもと、各種施策に取り組んでまいりますので、ご理解、ご支援をお願いします。

## 1 学ぶ意欲の向上と主体的に探究する人づくり

基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させ、思考力・判断力・表現力等を育むとともに、主体的に学習に取り組む態度を養うなど確かな学力の向上を図ります。  
 また、グローバルな視野を持ち、情報活用能力などの新しい時代に求められる資質・能力を身に付けた子どもたちを育成します。

### 主な事業 学びの質を高める授業改善プロジェクト事業

小・中学校において新学習指導要領に対応した授業改善を図るため教員の授業づくりの基本となる「授業スタンダード」を策定し、定着に向けたフォーラムを開催するとともに、学校図書館の活用を推進します。



## 2 あおもりを理解し地域で活躍する人づくり

児童生徒のふるさとに対する誇りや愛着心を醸成するとともに、学校・地域・県内企業・関係団体とのネットワークの強化を図るなど子どもたちの将来の県内定着に向けた取組を推進します。  
 また、特別支援学校生徒の職業スキル等を向上させるなど社会的・職業的自立を促進するとともに、若者・女性の学び直しによる社会参画を支援します。

### 主な事業 高校から取り組む人口減少対策プロジェクト事業

県内企業等と連携した郷土と県内就職に対する理解を深める学習を行うとともに、県内就職に関する情報提供や学校と県内企業の相互理解を促進するための就職支援員を配置します。



## 3 子どもを守り支える安全・安心な教育環境づくり

スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーの配置等いじめや不登校などに対する相談支援体制や、特別な教育的ニーズのある児童生徒への支援体制の充実を図ります。  
 また、学ぶ意思のある子どもたちが必要な教育の機会を得られるよう、高校生に対する修学支援等を行います。  
 さらに、安全・安心な教育環境の整備や教員が子どもに向き合う時間の確保に向けた取組を推進するとともに、学校・家庭・地域の連携を強化し、社会全体で子どもを育む体制を構築します。

### 主な事業 居場所づくり・絆づくり推進事業

不登校の未然防止等のため、安心して学べる環境づくりに向けた調査研究や、医療・心理・福祉等の関係機関や民間団体等による協議会を実施するとともに、市町村における支援体制の整備促進に向けたコーディネーターを配置します。



### 主な事業 学校の教育相談体制充実を支援する外部専門家活用事業

心理分野に関して高度な専門的知識・経験を有するスクールカウンセラー及び教育・社会福祉等に関して専門的知識・経験を有するスクールソーシャルワーカーを小・中・高等学校等へ配置・派遣します。

## 4 スポーツの振興と文化財の保存・活用

幼少期からの体力向上、肥満防止、運動不足解消や、年間を通じてスポーツに親しめる環境づくりを促進するとともに、国民スポーツ大会の本県開催に向けた競技力の向上等を図ります。  
 また、郷土の文化財を知り、魅力を発信できる人材を育成し、かけがえない文化財の保存・活用や特別史跡三内丸山遺跡等の世界文化遺産登録に向けた積極的な情報発信を行います。

### 主な事業 楽しさアップ!子どもの健康づくり事業

「楽しい体育」に向けた授業改善を推進するため、体育の楽しさアップ研修会を開催するとともに小学校低学年向けの運動プログラムを作成します。



### 主な事業 「選ばれる三内丸山遺跡」魅力発信推進事業

国内外から「三内丸山遺跡が選ばれる」ために、マーケティング調査を踏まえ効果的に遺跡の価値や魅力の公開・活用を推進します。



※人は青森県にとっての「財(たから)」であることを基本的な考え方としており、「人材」を「人財」と表記しています。



# 外国語教育の充実を通してグローバルマインドを備えた人財の育成を目指します

～青森県英語教育連携推進事業・グローバル社会を主体的に生き抜く人財育成事業～

## グローバル人財育成のために

### 英語4技能を養う

- ・リスニング (Listening: 聞く)
- ・リーディング (Reading: 読む)
- ・スピーキング (Speaking: 話す)
- ・ライティング (Writing: 書く)



### ◆本県の外国語教育の課題

学習指導要領の改訂による小・中高等学校を通じた英語教育の高度化への対応が必要であり、海外で活躍できる人財やインバウンドに対応できる人財の育成が求められています。

#### <小学校・中学校の課題>

- 児童生徒の4技能の客観的な把握
- 生徒・英語担当教員に求められる英語力の目標の達成

#### <高等学校の課題>

- リスニング・リーディング技能の更なる育成
- 「聞く・読む・話す・書く」のうち複数の技能を組み合わせる英語指導法(技能統合型指導法)の習得

→小・中・高等学校が連携して課題の解決に向け取組を進める

※人は青森県にとっての「財(たから)」であることを基本的な考え方としており、「人材」を「人財」と表記しています。

☎ 学校教育課 小中学校指導グループ TEL.017-734-9895 高等学校指導グループ TEL.017-734-9883

## 主な事業

### 青森県英語教育連携推進事業

- 英語教育推進リーダー中央研修を受講した教員等による、県内英語担当教員の資質向上を図る研修を実施します。
- 小・中・高等学校における指導と評価の一体化に資するための指導評価モデルである「Aomori English Model」の活用を促進します。
- 英語教育推進リーダーによる先進的な授業実践を公開します。



### 小学校教員の英語力・指導力向上支援プログラム

- 中核教員・英語専科指導教員研究協議会を開催し、小学校における外国語活動・外国語科の指導等に係る現状と課題について協議します。
- 支援が必要な小学校及び要請があった小学校に対して支援訪問を実施します。

### 青森県版英語教育推進リーダー育成プロジェクト (県立高校外国語科教員対象)

- 技能統合型指導法習得のための研修プログラムを実施します。
- 授業改善と指導実践例の研修成果を県教育委員会ホームページ等に掲載します。また、研究協議会を実施し、事業成果を普及します。

## 地域における特別支援教育相談体制強化事業

### 特別な教育的ニーズのある子どもの相談支援を地域で円滑に

県教育委員会では、特別な教育的ニーズのある子どもが地域に必要な支援を受けられるよう、県立特別支援学校が円滑に関係機関との連絡・調整を図りながら教育相談を実施するための仕組みづくりや、県立特別支援学校の教員に対して教育相談の専門性の向上を図るための取組を、2か年にわたり実施します。



### 取組1 特別支援連携協議会強化プログラム

○県内6地区で県立特別支援学校が事務局となり、各地域の特別支援教育の推進に係る取組を行う「地区特別支援連携協議会\*」について、他機関との更なる連携強化のための「教育支援ネットワーク強化会議」を行います。



\*地区特別支援連携協議会:発達障害を含む全ての障害のある幼児児童生徒とその保護者に対する教育相談について、教育、医療、保健、福祉、労働等の関係機関との連携の下、一貫した支援体制の充実を図ることを目的とした組織です。

#### 地区特別支援連携協議会事務局校

- |               |                    |
|---------------|--------------------|
| (東青) 県立青森聾学校  | (西北) 県立森田養護学校      |
| (中南) 県立弘前聾学校  | (上北) 県立七戸養護学校      |
| (下北) 県立むつ養護学校 | (三八) 県立八戸盲学校・八戸聾学校 |

#### 研修会を開催します

○小・中・高等学校等の教員を対象に、「個別的教育支援計画及び個別の指導計画の作成や活用等に関する研修会」を県内6地区で行います。



研修会の詳細は、各地区事務局ホームページ等でお知らせする予定です。

### 取組2 県立特別支援学校教員の専門性向上プログラム

#### ○「教育相談ガイドブック」の作成

- 児童生徒・保護者の方への相談に応じる際の基本的な事項や、小・中・高等学校等の教員への支援に必要な情報をまとめたガイドブックを作成します。
- ガイドブックは、県教育委員会のホームページに掲載するほか、各県立特別支援学校や市町村教育委員会に配布する予定です。

#### ○外部人材の活用による障害に対応した専門性向上研修

- 様々な障害種や教育的ニーズに対応した、より専門的な教育相談を実施するため、全ての県立特別支援学校において、作業療法士や理学療法士等の外部専門家を講師に招いた研修を行います。



☎ 学校教育課 特別支援教育推進室 TEL.017-734-9882

「あおり子育てネット」とは、子育てに関する電話・メール相談や、子育て支援の情報を提供することで、青森県の子育てに関わる全ての人を応援するサイトです。

サイトでは、本県の子どもたちにみられる課題や、子育ての悩み、またSNSやしつけなど関心の高いものについて、その解決のヒントとなるような情報を盛り込んだ動画がご覧になれます。

子育てで悩んだら…  
解決のヒントがもりだくさん。  
スマートフォンから、すぐ見ることができます。  
子育て動画、相談窓口はこちらから。

- しつけを考える (5分)
- 発達障害 ~小学校・子どものための選択~ (5分)
- 家庭で決めるルールづくり ~ネットに負けない子育て~ (5分)
- 働くシングルマザー ~ママの悩みはママに聞け~ (5分)
- 子どもの肥満は3歳までが大事 ~子どもが将来健康で暮らせるために~ (5分)
- 家庭と仕事の両立 ~自分らしく生きる~ (15分)
- 先輩たちに聞く ~発達障害児・入学に向けての悩み~ (15分)

パソコンはこちらから ▶ <http://kosodate-a.net/>  
子育てに関する電話相談 ☎017-739-0101  
(毎週 月・水・木 13:00~16:00(年末年始・祝日除く))

令和元年度は、「子どもとSNSの付き合い方」「しつけ」「肥満」「発達障害」「ワーク・ライフ・バランス」をテーマにした動画を制作しました。親子でも視聴できる内容となっておりますので、ぜひご利用ください。

子どもをどうしかつたらいいの? 身につけて欲しいマナーは、どうやって教えたら効果的?

子どもがスマホのネットゲームに夢中で、宿題もやろうとしない。目も悪くなりそうだし、こんな時、どうする?

働きながらの子育ては大変! 「ワーク・ライフ・バランス」って何? 他の人はどうしているのかな、

発達障害の子どもを持つ親にとって、いろいろな壁があると思うけど、他の人はどう乗り切ったの?

お菓子ばかり食べて、ご飯を食べてくれない、食育ってどうすればいいの?

☎ 青森県総合社会教育センター TEL.017-739-1270

## 令和2年4月、新「黒石高等学校」が開校しました!

校訓  
誠実・敬愛・健康

校旗



スクールカラーであるプリンセスブルーを用いた生地に、黒石商業高等学校情報デザイン科の生徒がデザインした新たな校章の刺繍が施されています。



4月7日、黒石高等学校と黒石商業高等学校との統合による新「黒石高等学校」の開校式が行われました。新「黒石高等学校」は黒石高等学校から普通科と看護科(専攻科含む)、黒石商業高等学校から情報デザイン科を引き継ぎ、特色が異なる3つの学科を持つ新しい学校として、237名の新入生を迎えて新たな歴史の一步を踏み出しました。

開校式の後に行われた入学式では、代表生徒が「黒石高等学校と、黒石商業高等学校の伝統を受け継ぎ、新たに開校された、黒石高等学校の一員になることができ、とてもうれしく思います。高校生活で、自分の可能性を大いに広げ、日々の勉強や部活動をとおして、様々なことに挑戦します。」と誓っていました。



県立黒石高等学校のホームページはコチラ <http://www.kuroishi-h.asn.ed.jp/>